

靖国問題公開学習会



宗祖の「法難」をとおして

靖国問題を考える



本年は、親鸞聖人が承元の念仏弾圧で師、法然上人とともに連座し遠流に処せられ、800年を迎えました。

靖国問題専門委員会では、現地研修会として高田教区へ出かけ、高田教区靖国班との交流研修を計画するなど、宗祖の「法難」をとおして、靖国問題を学習しております。

今回の靖国問題公開学習会は、特に「専修念仏にあたをな」した当時の聖道門仏教教団と、宗祖が求められた凡愚を救う仏道との差異を明らかにしながら、いわゆる「承元の法難」の背景を学び、宗祖親鸞聖人のご生涯のなかで「法難」が持つ意義を学んで参ります。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

記

期 日 2007年4月9日(月)

時 間 午後2時から午後5時

場 所 岡崎教区会館

(岡崎市梅園町1-1-2 0564-22-2136)

講 師 藤場 俊基 氏(石川県 常讃寺)

参加費 無料

主催 岡崎教区靖国問題専門委員会